



<同志社人が母校を誇りに思える情報>

「同志社ファン・レポート」

Ver.2-028 号

「闇を切り裂く光を求めて ～グローバル経済を救え～」

(浜 矩子 先生 講演録)



3月12日、新島会館で開催された「同志社 D.M.C.春の集い」での浜矩子先生のご講演の内容と写真を秋田まち子さんからご投稿いただきましたので、ここに掲載いたします。

◆浜矩子先生ご略歴：

一橋大学卒、三菱総研経済調査部長、政策経済研究センター主席  
研究員を経て、2002年 同志社大学大学院ビジネス研究科教授



**講題：「闇を切り裂く光を求めて ～グローバル経済を救え～」**

文責：秋田まち子（1957年英文卒、同志社 D.M.C. 主宰）

敬虔なクリスチャンでいらっしゃる浜矩子先生のご講演は、聖書の言から始まりました。  
(以下、ご講演要旨)

「初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。この言は、初めに神とともにあった。万物は言によって成った。成ったもので、言によらずに成ったものは何一つなかった。言の内に命があった。命は人間を照らす光であった。光は暗闇の中で輝いている。暗闇は光を理解しなかった。」(ヨハネによる福音書 第1章 1～5節)

今の世は闇と光の綱引き状態であり、いずれが勝つのか不安な現状だが、聖書が「闇は目前に輝く光を認識出来なかった」と教え、光の勝利を告げているのは心丈夫である。闇の恐ろしさは悲しいことである。

今、一国主義、国家主義が凄まじく押し寄せる闇の中で、どう闘っていけばグローバル経済を救えるのか。一国主義という幼児的狂暴性には二種類ある。引き籠もり型狂暴性と拡張主義的狂暴性である。どちらも基本的人権を損なう闇である。なぜならグローバル時代の今は国境を越えて全てが動いており、誰も独りで生きていけないからである。

反グローバル主義者は、グローバルを基本的人権の敵だと思い込ませようとするが、この旗印には落とし穴がある。アメリカの対中姿勢によって一番苦しむのはアメリカ自身であり、メキシコとの国境の強大な壁を作るにはメキシコの資源が必要なのであって、助け合わないとやっていけないのだ。この意味で、こんなに素晴らしい時代は未だかつて無い。

今、我々が心に留めるべきは ① **deglobalization** と ② キャッシュレス化 という言葉の正しい意味である。敵の使う言葉の本当の中身は何かを問いかけなければならない。

① **deglobalization** は不グローバル化？非グローバル化？そのいずれでもなく、正しい言葉を見つけるならば、破グローバル化であろう。敵の言葉で語らず自分の言葉で語ろう！（「アホノミクス用語事典」より）破グローバル化するのを喜ぶのは国粋主義推奨者、偽予言者であり、これは悪魔の囁きなのである。

② キャッシュレス化 の意味内容は何か？乗り遅れてはならないと急がせる意味は何か？深く考えることが必要だ。現金取引・現金決済が行われなくなると考えるのは誤りであり、現金が暗号化されるだけのことなのである。経済産業省がキャッシュレス化を強く奨めているが、その弊害を考えずにキャッシュレス化を進めて良いのか？

現金が電子化され、紙幣が「電子幣」になり、スマホからスマホに・・・ということは第三者が視ている・第三者に分かってしまうということ。即ち、サイバー空間を通じて国家が国民のお金の動きを把握してしまうということであり、自分のお金が自分のものでなくなるということなのだ。これは国家主義である。

また、中央銀行で全国民の資産が統括されるとどうなるか！？中央銀行が必ずしも良い人・立派な人が運営するとは限らないのだから・・・。

① **Deglobalization** も ② キャッシュレス化も闇を深めるものと知るべし！  
知的後退に繋がる・アホ化に繋がる・考える力を失わせるものなのである。意識の覚醒を！

以 上

◆同志社 D.M.C.とは：

学校法人同志社の外郭親睦団体として私・秋田まち子が 1981 年に同志社諸学校卒業生と各校父母の会現旧会員に呼びかけて創設した会です。

各父母の会の会員への同志社精神浸透と諸学校間の横の連帯感の強化を願って、オール同志社マザーズコーラス大会を創出し、以来 38 年間、毎年主催するなど同志社への協力的活動を継続的に行っています。

会名の由来は” Doshisha Dynamic Maturity Club” で、当会が目指す目標として掲げたイメージです。これに賛同して集まった会員（現在約 150 名）の為に役立つ会でありたいと念じ、新島精神に則り、会員各自の精神的成熟を目標に、自己解放と自己教育の場を創出し、個人では為し難い面での自己実現を集団で達成しようとの意図を以てコーラス、ダンス、書道、グルメ、ボランティア、ウェルネスの 6 部を設置し、これらの各部活動と全体行事を常時実行しています。

主旨に賛同される方のご入会を歓迎します。

<連絡先>同志社 D.M.C. 事務局 (〒603-8103 京都市北区小山北玄以町 18 秋田方)